

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立榛原西小学校および「みんなの広場」

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校校区は自然豊かな地域で保護者の学校教育に対する関心も高い。子どもたちは全体的に素朴で何事にもまじめに取り組み最後までやり通すよさを持っている。本校の児童はまじめな子どもたちがほとんどで、規範意識も育っている。しかし、積極的に地域の人々や自然と関わる機会が減ってきている。

そこで、本校における学校・地域パートナーシップ事業は「つながろう西小コミュニティ」をテーマに、本校地域・保護者の皆様の協力を得て、子どもたちが地域の自然や人々と関わりながら、「環境・健康・文化・労働・人権」の基本コンセプトに、子どもたちがたくましく豊かな学びができる環境づくりを、学校と地域が協働して整え推進していくことをねらいとした。

2 取組の概要

本校の学校・地域パートナーシップ事業の取組の一つとして、地域在住で農業に従事している方のご指導をいただいたの「カモ米作り」体験に取り組んだ。これは校区内の田の所有者の方とアイガモを貸して下さる方のご協力とご指導のもと、5年生の子どもたちが田植えやカモの世話をを行い、秋には稲刈りや脱穀の体験をし、できたお米を調理しての感謝パーティーを行ったというものである。



＜地域の方より説明を受ける＞



＜いざ、田植えにチャレンジ＞

米作り体験では、子どもたちは地域の自然や人々と触れ合い、生き生きと活動することができた。食の大切さとともに、農業という仕事の大切さも感じ取ることができた。

もう一つは、家庭科の裁縫学習での学習支援である。こちらも地域の経験豊かな

な方々に来ていただき、子どもたち一人一人に寄り添うようにきめ細かな指導・支援をいただくことで、子どもたちが安心してより確かに裁縫技能習得をすることができた。

また、本事業の放課後子ども教室の取組として、希望者を募っての「みんなの広場」がある。これは、奈良県在住の韓国の方を講師に招き、韓国の伝統楽器チャングの演奏などを通して国際理解や交流を深めていく取組である。毎週木曜日の放課後に、子どもたちは楽しくチャングの演奏方法を教えていただき練習を重ねた。その中で韓国文化についてもお話も聞くなど、互いの文化の交流も深まった。そして、11月には榛原西小学校のなかま集会で発表を行った。子どもたちは韓国の衣装を着て、迫力のあるチャングの演奏を披露した。



＜韓国の先生より、チャングの演奏の指導を受ける子どもたち＞



＜榛原西小学校なかま集会では、韓国衣装を着て発表＞

この教室では、ほかにもレクレーションも兼ねて韓国料理のチヂミ作りを行った。今では日本でもポピュラーな料理で、子どもたちは楽しく交流し学習することができた。